

2022年4月19日

株式会社 大阪ソーダ

「全固体電池用超高イオン伝導性ポリマー」がNEDOグリーンイノベーション基金事業に採択

当社が開発中の「全固体電池用超高イオン伝導性ポリマー」が、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）のグリーンイノベーション基金事業／次世代蓄電池・次世代モーターの開発プロジェクトに採択されました。

グリーンイノベーション基金事業は、わが国が掲げる「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする」という目標の実現に向けて、エネルギー・産業部門の構造転換や、大胆な投資によるイノベーションといった現行の取組みを大幅に加速させることを目的とし、これらを経営課題として取組む企業等に対して、10年間、研究開発・実証から社会実装までを継続して支援するものです。

昨今、自動車のEV化にともない車載用リチウムイオン電池のさらなる小型軽量化と安全性の向上が求められており、多くの企業で全固体電池の開発が進められています。この電池は、電解質に可燃性材料を使用しないため従来の液体電解質に比べて安全性が高く、車載用途への展開が期待されています。しかしながら、全固体電池の実用化に向けて高容量化による小型軽量化が最大の課題となっており、充放電の際に電極材料の大きな体積変化により生じる、高容量系活物質と固体電解質との界面におけるリチウムイオンの移動抵抗の上昇を抑制する必要があります。

現在当社では、この課題の解決に向けて全固体電池用超高イオン伝導性ポリマーの研究に取り組んでおり、次世代負極材料における充放電時の体積変化に追従することで界面抵抗を低減させる素材開発ならびに製造技術の確立を目指しています。当社は、このたびのNEDOグリーンイノベーション基金事業への採択を機に独創的な技術と製品の提供を通じて全固体電池の社会実装に取り組むとともに2050年のカーボンニュートラル実現への貢献を加速してまいります。

参照) NEDOウェブサイト

グリーンイノベーション基金事業、「次世代蓄電池・次世代モーターの開発」に着手

https://www.nedo.go.jp/news/press/AA5_101535.html

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社大阪ソーダ 経営企画部 広報グループ

TEL：06-6110-1560